

2017年度 活動報告

1、役員会

今年度は定例の諸活動の他に、「防災計画の見直し案」の作成をいたしました。現防災計画は2011年の自主防災組織の発足時に定められました。仮災害対策本部設置の基準が記載されておらず、また行動すべきことは明記されていても、自主防災組織のどの部会が主体となって行うかが明記されていませんでしたので、明記する等の見直しを行いました。

また避難所運営については、自治会が中心となって運営するのが最良と判断しましたが、今後自治会と協議して桜ニュータウンの住民にとって、より良い防災計画にしたいと考えています。

・役員会を5回(4/15、6/24、9/24、11/25、2/4)、防災会議を3回(10/5、12/7、2/10)、長期計画策定プロジェクト会議を1回(2/10)開催しました。

2、ひなん支援部会

- ①災害時のひなん支援希望者調査を実施した。(4月) ひなん支援希望者宅を訪問し希望者を確定。
- ②日赤講師による災害時における減災セミナーの開催と、いざという時の「くらしの知恵」展示。(5/13)
- ③防災訓練を実施した。(6/3) 安否確認、総合受付を担当
 - ・自力歩行困難者支援訓練
 - ・黄色のハチマキ を持っていない人に補充した。
- ④「ツツク見守りたい」の全戸配布をお願いした。(10月) 救急隊に掛かり付け医、常備薬を知らせるメモ。
- ⑤ひなん支援希望者宅の訪問をして日頃から顔の見える関係をつくる。
 - ・3回訪問した。(5月、10月、2月)
 - ・2月にはサポーターさんの訪問も行い、日頃の接し方や不安に思う事などの聞き取りをした。
- ⑥支援部会は5回(4月、5月、9月、10月、1月)開催。

3、情報部会

- ①自主防災活動の広報
 - ・防災だよりの発行(4回発行 5月、10月、12月、2月)
 - ・防災メールの発信 防災訓練等の開催案内、防災メールによる安否確認訓練、台風等の注意喚起、
 - ・防災掲示板を用いた広報 防災訓練等の開催案内等
- ②防災メール
 - ・有料の民間メールサーバー(さくらインターネット)に移行。
 - ・防災メールの普及活動。(2018年1月末時点での防災メール登録アドレス数は190件)
 - ・防災訓練時のメールを使った安否確認
 - 防災訓練中に着信したメールによる安否確認情報(75件)を黄色いハチマキによる安否確認情報と速やかに統合した。(最終的なメールでの安否確認数は83件であった。)
- ③防災に関する住民意見交換会の開催(1/20)
 - 「災害時の避難所の運営について」を議題として開催。つくば市危機管理課による基調講演の後、住民による避難所の運営について意見交換した。(参加者25人名)

4、訓練部会

- ①防災訓練(6/3) 救出救護訓練、被害確認訓練、給水訓練、消火訓練等を実施。(参加者97名)
- ②救急救命講習会(10/21) 並木消防署による講習会を実施(参加者22名)
- ③「防災用救急セット20人分」を購入した。
- ④防災倉庫内の棚・資機材を固定(7/15)